

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和4年3月定例会	
議案番号 議案名	<p>議案第60号 令和4年度松戸市一般会計予算          議案第61号 令和4年度松戸市国民健康保険特別会計予算          議案第62号 令和4年度松戸市松戸競輪特別会計予算          議案第65号 令和4年度松戸市介護保険特別会計予算          議案第66号 令和4年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算          議案第67号 令和4年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計予算          議案第68号 令和4年度松戸市相模台地区土地区画整理事業特別会計予算          議案第70号 令和4年度松戸市病院事業会計予算</p>
議員名・会派名等	公明党
賛否態度	賛成
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>以下の賛成討論をもって、態度決定に至った理由と致します。</p> <p>ただいま飯箸公明予算審査特別委員長よりご報告のありました、議案第60号令和4年度松戸市一般会計予算、議案第61号から68号までの特別会計予算、及び議案第69号から71号までの企業会計予算について、会派を代表して、委員長報告の通り賛成の立場から討論を行います。</p> <p>さて、新型コロナウイルスの感染拡大を前代未聞の出来事と受け止めてから、はや2年余りが経過しています。ゴールが見通せない中、次々と襲ってくる災禍に社会全体が疲弊してしまっている感がありますが、新型コロナの感染第6波に対して適用されていた「まん延防止等重点措置」が去る22日、約2か月ぶりに全面解除されました。</p> <p>国民一人一人の感染防止への取り組みや、医療・福祉関係者などのご努力により、新規感染者数はピーク時の半分程度まで減少しています。</p> <p>今後は、本市にあっても社会経済活動の回復を進めるとともに、感染再拡大への備えにも万全を期す必要がありますので、執行部におかれましても、情勢を細かく把握し、臨機応変たる運営を求めたいと思います。</p> <p>そのような中で上程された令和4年度一般会計予算案は、前年度比約75億8千万円増、率にして4.5%増の総額1,742億9千万円の過去最大の予算案となっています。</p> <p>歳入の根幹たる市税については、地方財政計画などに比例して約</p>

36 億円増となっておりますが、先の見通せない不安定な状況が続くことが予想されます。

新年度は、本市の新総合計画実施期間の初年度ともなりますので、引き続き、事務事業の着実な運営と安定した財政運営を、まずお願いしておきたいと思います。

以下、本一般会計予算案に対する賛成理由を申し述べます。

まず1点目には、市民の命と暮らしを守る予算であることを評価致します。

今、最も求められるものは、将来の感染症危機に備え、着実なるワクチン接種の推進、そして、感染拡大時でも適切な治療が受けられる医療提供体制を維持するなど、市民の命と健康を守る体制を強化することにあります。

まず、本予算案では、新型コロナウイルス感染症に要する経費として、約 32 億円を計上して頂いております。

第 3 回目のワクチン接種事業を始めとして、高齢者施設や市民への PCR 検査助成などの医療面での支援、クラスター対策支援、また、甚大な影響を受けた家庭への住居確保給付金や生活困窮者自立支援金給付事業などの支援、障がい者や介護施設への補助金などによる福祉・介護・子どもを支える人への支援、そして市内事業者を支える経済対策支援など、広範囲にわたる取り組みを評価したいと存じます。

また、地域共生社会の実現に向けた取り組みとして、いわゆる制度の狭間や複合的な課題を抱えたご家庭を支援する重層的支援体制整備事業の拡大も評価したいと存じます。

特に、本市が積極的に進める、多世代の方々が気軽に相談しやすい人とつながることのできる居場所づくりとして、「まつど DE つながるステーション」の創出を評価致します。

六実六高台・馬橋・小金の 3 地区において実行委員会が立ち上がったとのことで、今後の推進にご期待申し上げます。

また、更には、国の SNS 地域連携包括支援事業に参加して行う自殺対策支援、医療的ケア児や重症心身障がい児に対する支援の拡充、更には、積極的接種勧奨が控えられていた子宮頸がんの予防接種についても対象者に個別通知を行うとともに、接種機会と逃した方へのキャッチアップも積極的に行って頂くことになりました。また、男性の健康を守る前立腺がん検査の PSA 検査の導入などにも取り組んでいただきました。大いに評価致します。今後とも、誰もがいきいきと暮らし、全ての人が光り輝くまちづくりを心からお願い申し上げます。

賛成理由の 2 点目には、子ども子育て支援を充実させる予算であることを評価致します。

私ども公明党は、国づくりは人づくりであるとの信念の下、次世代の人材を育成することは「社会の責務」であると考え行動しています。

コロナ禍の不安を払しょくし、誰もが安心して子どもを産み育て、

十分な教育が受けられる社会づくりを今こそ果敢に取り組むべきです。

本市におかれましては、増加する保育需要に対し、小規模保育施設の増設や、幼稚園での預かり保育、そして、送迎保育ステーションの拡充などの施設面での取り組みと共に、保育士確保への各種取り組みなどにより、平成28年度から6年連続で国基準の待機児童ゼロを達成して頂いております。今後とも、コロナ禍で難しい保育施設の運営が求められますが、最大限のご努力をお願い申し上げます。

また、新年度よりは、子どもがいるご家庭の経済的な負担を軽減するために、子ども医療費助成の対象年齢を高校3年生相当まで拡大して頂きました。私ども会派としても、要望書を提出するなどして要請してきたことが盛り込まれ、大いに評価したいと存じます。

更には、家庭環境に課題を抱える子どもたちへの支援強化も評価致します。

喫緊の課題である児童虐待については、県の方針で新たに本市に児童相談所が設置されることになりました。県との連携の下、悲惨な事案の解消に更なる強化をお願いいたします。

また昨今、社会的にも関心の高まっているヤングケアラーについても、子ども食堂等を運営する団体と連携しての見守り体制の強化、更には、子どもの自立を促す(仮称)子ども・子育て自立支援プログラムの創設なども評価致します。

学校教育の面では、私ども会派が長年に亘って訴えてきた学校給食の公会計化への取り組みを大いに評価致します。

これにより、教職員の業務負担軽減が図られることは明らかであり、その分、先生方が子どもたちと向き合う時間が増えることとなります。併せて、保護者の負担軽減も図られ、素晴らしいと思います。今後とも適切な人員配置とともに円滑な事務の執行をお願いいたします。

教育現場においても、新規にICT支援員の派遣やスタッフ派遣による「にほんごルーム」の開設など、様々な課題に対する取り組みも評価したいと存じます。

今後とも、本市の未来を担う子どもたちへの、積極的な支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

賛成理由の3点目には、本市の未来と成長戦略を見据えた積極的な街づくりを実現する予算であることを評価致します。

特に新拠点ゾーンの街づくりについては最優先のテーマです。

新年度予算において、まちづくりに資する用地として旧法務省の官舎跡地などの国有地を取得した上で、新たに、道路等の公共施設の整備や宅地の利用増進を図り、賑わいの拠点を形成するために区画整理事業をスタートする予算が盛り込まれております。

私は、本事業を審査するに当たり、平成27年に策定され本事業の原点である「松戸駅周辺まちづくり基本構想」を改めて見直してみました。

この基本構想は、学識経験者として山崎直子氏などにも参画して

頂いて策定されたもので、7年たった今、改めて見直しても極めて妥当な構想だと確認できました。

当時の周辺地域特性として、小売業年間販売額が減少し、近隣市と比べて伸び悩んでいることがまず掲げられ、相模台地区の課題としても、官舎跡地の有効活用が図られていないこと、公園・大学・公共施設が立地しているが低地部や国道6号からのアクセスが不十分であること、そして、松戸中央公園は立地特性が活かされていないことなどが挙げられ、そのための課題解決の方法として、官舎跡地や松戸中央公園等の一体開発によりランドマークとなる多機能拠点づくりを行うとし、具体的には、文化・子育て・教育・商業・公共公益的な施設などを配置した新しいタイプの複合施設を整備すること、多機能拠点の整備に当たり、公園の配置を見直して再整備をおこなうこと、そして、国道6号などからのアクセスを向上させるため道路整備を行うことなどとしております。

まさしく、この基本構想は極めて妥当な構想であり、この間、執行部もこの基本構想通りに一つ一つの事業を丁寧に進めて頂いてきたものと改めて評価したいと存じます。

途中、熊本地震や、房総半島台風の発生などもあり、防災機能の強化策が図られたことも極めて自然のことです。

何れにしても、この一連の事業は、本市の中心市街地である松戸駅周辺の活気や賑わいを高めていくための事業であり、やらない理由が見つかりません。

松戸駅周辺が、都市再生緊急整備地域の政令指定を受けた今、この新拠点の整備が新たな民間誘導の起爆剤にもなってくると確信しますので、是非とも、本市の将来を見据えて着実なる執行をお願いいたします。

その他にも、自治体DXの推進、SDGs推進への取り組み強化、防災減災対策の推進、スケートボード場など都市型スポーツ施設の整備、ゼロカーボンシティの表明など、数多くの評価されるべき事業が盛り込まれていることを大いに評価したいと存じます。

その上で、一点、平和事業について申し述べます。

ご案内の通り、ロシアによるウクライナ侵略から一カ月が過ぎました。国際秩序の根幹を根底から揺るがす暴挙に対し、改めて厳しく非難するとともに、ロシア軍の即時撤退を求めたいと思います。

そして、これまで、核兵器は抑止力の為の兵器として決して使えない兵器、核兵器を使うことはタブーとされてきましたが、今回ロシアは、核のタブーを破り、使われる兵器として扱うそぶりを見せています。言語道断であります。私ども日本は、唯一の被爆国として核兵器全廃への取り組みを断固進める使命があります。

その意味からも、本市の平和事業にあっては、全市民、とりわけ本市の児童生徒に対し、平和の尊さ・戦争の悲惨さを継承し、核兵器廃絶への取り組みを子どもたちにもしっかりと根付かせられるよう、全庁挙げて取り組んでいただきますよう心からお願い申し上げます。

続いて、病院事業会計について、申し上げます。

まずは、新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中で、最前線の現場では、関係者の皆さまが大変な思いで従事していらっしゃると思います。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。今後とも市民の命を守る取り組みを何卒宜しくお願い申し上げます。

その上で、委員会において、松戸市病院事業再編計画案のパブリックコメントについて幾つかの指摘がありました。

しかし、パブリックコメント手続きは、政策を策定する上で説明責任を果たすことと、行政運営の透明性を図ることを目的としている制度であり、また、本計画案の議会・市民への手続きについては、先の12月議会にてパブコメ実施の報告があり、意見募集期間を経て、2月25日の健康福祉常任委員会において、結果報告及び計画策定の報告がなされたことから、わが会派として当パブコメについては、適正に行われたものと認識していることを申し添えます。

最後に、今後の市政運営に一言申し述べます。

今回のロシアによるウクライナ侵略により、ガソリンなどの資源価格や、小麦などの生活物資の高騰が発生してしまっております。

これらを受けて、東京都をはじめとしたいくつかの自治体では、既に新年度の補正予算を編成し、事業者支援や雇用対策、物価高騰へのセーフティネット強化などに取り組んでおります。

本市にあっても、このウクライナ危機による影響は避けられず、とりわけ、学校給食の食材の価格高騰が心配されます。

また、千葉市などにおいては、市営住宅を開放し、ウクライナ難民受け入れを表明し、今朝の報道によると、既に受け入れが決定したようであります。

是非、本市におかれましても、市民への影響を細かく把握し、市民・事業者への相談窓口の設置をはじめとして、物価高騰への対応、更にはウクライナの難民支援など、必要と判断された事業は躊躇なく迅速に実施するよう強く求めたいと思います。

どうか宜しくお願い申し上げます。

以上、申し上げ、本定例会に上程された、一般会計から各特別会計、各企業会計の全ての予算案について、妥当であると判断し、会派を代表しての賛成討論と致します。